

市民参加プロセス計画書：災害廃棄物処理計画

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

平成25年3月11日に発生した東日本大震災以降、災害廃棄物処理の任り方に関する法体制が整備され、本市においても平成30年3月に岡崎市災害廃棄物処理計画を策定しました。
 【計画改定により解決したい課題】
 当該計画の策定から一定の年月が経過した令和5年6月に本市は再び豪雨被害に見舞われ、大量の災害廃棄物が発生し、迅速かつ適切な災害廃棄物処理を実施するためには、実効性のある災害廃棄物処理計画が必要不可欠であることを再認識したところです。そのような折、令和6年1月1日の能登半島地震では、甚大な被害もさることながら、交通網断絶によりライフラインの復旧にも手間取るなど、災害廃棄物処理に影響を及ぼす様々な要因を想定する必要があることが浮き彫りとなりました。
 そこで、今回の災害廃棄物処理計画の改定は、令和5年4月に環境省から示された災害廃棄物処理計画策定・点検ガイドラインに基づき見直しを行い、実効性を向上させ、様々な種類の災害に対して可能な計画とすることで、迅速な復旧・復興が達成されることを目指します。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階					
構想段階	平成30年3月に策定した岡崎市災害廃棄物処理計画を改定するため、検討段階及び構想段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、今回の改定について検討する計画段階から市民参加を実践することとします。				
計画段階	令和6年3月	全町内会へ文書による照会	全総代（556町）	災害廃棄物の地域集積所の候補地の選出依頼	災害時のごみの出し方について合意形成を図る。
	令和6年7月	環境審議会への諮問	環境審議会委員（学識経験者及び市民公募委員から意見を聴取したいため）	（提供）計画案 （聴取）計画案に対する意見	計画案について学識経験者からの専門的な御意見をお聴きし、計画案の内容の精度を向上させる。
	令和6年8月	ヒアリング	廃棄物処理に関する協定締結団体	（提供）計画案 （聴取）計画案に対する意見	計画案について事業者からの専門的な御意見をお聴きし、計画案の内容の精度を向上させる。
	令和6年12月	パブリックコメント	全市民・事業者	（提供）計画案とその周知 （聴取）計画案に対する意見	計画案に対する合意形成を図る。
	令和7年1月	環境審議会での審議	環境審議会委員（学識経験者及び市民公募委員から意見を聴取したいため）	（聴取）パブリックコメントの内容を反映した計画案に対する意見	計画案に対する合意を得る。
実施・運用段階					